

ほすぴたる



平成18年 2006.2

公立豊岡病院組合広報紙 第10号

豊岡病院/日高病院/出石病院/
梁瀬病院/和田山病院

明るい入院生活を……

クリスマス会を開催しました

毎年各病院では、七夕会やクリスマス会、院内コンサートなど、様々な企画を行っています。この冬各病院で行われた、クリスマス会の模様をほんのちょっとご紹介します。何かと暗い感じの入院生活の中で、『患者様に明るく笑っていただき、病気を克服していただきたい』と、職員による手作りの内容で行っています。日程や企画内容は毎年違いますので、お問い合わせいただくか、病院にお越しの際にたまたま見かけることがありましたら、是非足を止めて見てみてください。

☆豊岡病院

毎年、この時期になると医師と看護師が協力して、患者様とクリスマス会をしていました。今年は歌やゲームの企画はできませんでしたが、スタッフがサンタクロースやトナカイ、ツリーに扮装し、クリスマスメドレーの流れる中、患者様のベッドサイドにプレゼントを配らせてもらいました。驚かれたり、感動して泣き出す患者様もあり、心の癒されるひと時を過ごすことができました。



☆日高病院

当院では「EXA会」という患者様の会があり、2年前からクリスマス会に出演してもらっています。そのEXA会のドタバタ劇や清楚で可憐(!?)な看護師によるコーラスや踊り、心に響くハンドベル。そして「わー」と驚く大道芸とバリエーションに富んだプログラムが特長です。患者様に明るく笑っていただき病気を克服していただきたいと思います。



☆出石病院

例年、入院患者様をご招待して行っていますクリスマス会を、今年も開催しました。患者様を交えての合唱、恒例となっています院長扮するサンタクロースからのプレゼントに加え、今回は落語家の方をお招きして患者様に生の落語を堪能していただきました。いつもとはひと味違った趣向に、患者様も楽しんで下さったようです。



☆梁瀬病院

今回は病棟で毎月行っている遊ピリテーションと合体させて行いました。リースをつくり、看護師の合奏、参加者の合唱、サンタさんからの贈り物というプログラムでした。飛び入りで、参加された患者さんからの独唱「女の道」もあって楽しいひと時でした。サンタは当院の男性看護師で、ちょっとシャイなサンタクロースでした。



☆和田山病院

入院患者様を勇気づけ、少しでも楽しいひと時を過ごしていただくためにクリスマス会を催しました。今回は竹田小学校の皆さんによる「金管バンド」演奏、東河小学校育友会スマイルの皆さんの「ハンドベル」演奏、職員有志によるはばタンダンスなどたくさんのお出し物がありました。なじみのあるクリスマスソングが演奏されるとくちざさむ患者様もおられ、一足早いクリスマスプレゼントに大喜びでした。



今号の主な内容

- 新年のごあいさつ …… (P2)
- 組合議長年頭ごあいさつ (P2)
- 組合議会議員紹介 …… (P2)
- 特集！医療機器紹介 … (P3)
- 医局だより～不整脈～ (P4)
- 医師不足の状況 …… (P5)
- 新任医師紹介 …… (P5)
- かかりつけ医関連記事 (P6)

年頭のごあいさつ



公立豊岡病院組合
管理者

進藤 重亀

明けましておめでとうございます。2006年の年頭にあたり一言ご挨拶申し上げます。

昨年は、5月には待望の豊岡病院の新築移転を果たすなど喜ばしい出来事の他に、深刻な医師不足による診療体制の縮小など、住民の皆様には多大なご迷惑をおかけした年であったと思います。

当病院組合は明治4年の豊岡県医局が基となっており、その布告文には、当時の但馬地方の医療過疎の状態が謳われています。これには、今のように当たり前の医療が受けられずに亡くなる人が多かったため、医療が受けられるように医局を設置したいという医療確保に対する当時の人々の切実な思いが込められています。

今、日本の医療は急激な変動の真っ只中にあり、この但馬だけでなく全国の地方都市で医師不足が深刻化し、さらなる経営収支の悪化をもたらしています。私は、年頭にあたり、この布告文にある精神を引き継ぎ、この但馬地域の医療の最後の砦として、医療の確保のため、自治体病院の責任を果たし発展していくよう邁進いたす所存であります。

今年も皆様にとって最良の年でありますよう心からご祈念申し上げ、新年のご挨拶といたします。



公立豊岡病院組合議会議長

木谷 敏勝

謹んで新春のお慶びを申し上げます。

昨年は、念願でありました新豊岡病院が豊岡市戸牧の地に移転開院し、また病院組合を構成する1市9町が、豊岡市及び朝来市の2市に合併して病院組合議会議員定数も22人から14人になるなど病院組合を取り巻く状況も大きく変化した年でありました。もとより病院組合が設置し

ています5つの自治体病院は、地域住民のみならずの要請に基づき、議会の議決を経て設立され、公的医療機関でなければ対応することが困難な高度・特殊、へき地、小児、救急など多くの不採算医療を担い、地域における医療の確保と医療水準の向上に努め、その役割を果たしています。

しかし、昨今の地方における医師不足の深刻化や診療報酬引き下げの影響等による赤字の増加など、自治体病院経営を取り巻く環境は一段と厳しさを増しています。組合議会としましては、組合の経営健全化とともに、地域の実情を踏まえた望ましい医療環境の整備をめざし、引き続き、議会活動を通して組合当局とともに諸問題を解決し、安全で安心の持てる地域医療の更なる充実を図ってまいります。

本年が皆様にとって健康でますます充実した年になりますよう祈念しまして年頭のご挨拶といたします。

公立豊岡病院組合議会（定数14人）

（敬称略）

議長 木谷 敏勝（豊岡市） 副議長 安福 英則（朝来市） 議会選出監査委員 森本 陸夫（豊岡市）

【常任委員会】

（議会運営委員会 6人）

委員長 古谷 修一（豊岡市） 委員 斉藤 知行（朝来市）
副委員長 小谷 友信（朝来市） 委員 芝地 邦彦（豊岡市）
委員 伊賀 央（豊岡市） 委員 森本 陸夫（豊岡市）

（総務委員会 7人）

委員長 奥村 忠俊（豊岡市） 委員 西川 克己（朝来市）
副委員長 森田 健治（豊岡市） 委員 森田 進（豊岡市）
委員 伊藤 仁（豊岡市） 委員 安福 英則（朝来市）
委員 稲垣のり子（豊岡市）

平成18年度 公立豊岡病院組合医師修学資金貸与医学生募集のお知らせ ～故郷の医療にあなたの手を～

公立豊岡病院組合では、平成16年度より、但馬地区の高等学校卒業生を対象に修学資金の貸与を実施しています。この制度は、将来組合立病院の医師として、但馬の医療の向上に貢献しようとする医師の育成を目的としています。熱い志をもった学生の皆さんの応募をお待ちしております。

- | | |
|---|---|
| <p>1 対象者 但馬地区の高等学校を卒業し、平成18年4月に新たに大学医学部に進学される方で、大学卒業後に公立豊岡病院で2年間の臨床研修を修了し、医師として組合立病院で勤務する意思のある方。</p> | <p>2 募集人員 3名程度
3 貸与金額 10,200,000円（6年間）
1年生～4年生 月額125,000円
5年生～6年生 月額175,000円
4 選考日程 平成18年3月下旬の予定</p> |
|---|---|

※ 募集内容及び制度の詳細は病院組合ホームページにて公開しています。

※ 問合せ先 公立豊岡病院組合総務部人事課 電話22-6111 内線2103

最新の医療機器を導入しています(公立豊岡病院)

新病院への移転に合わせ、いろいろな新しい医療機器が導入され、診療の場で活躍しています。3回目となる今回は放射線科の“ガンマカメラ”と核医学検査(シンチ検査)について、みなさんにご紹介したいと思います。

ガンマカメラ

核医学検査ってどんな検査ですか？

ラジオアイソトープ(放射性同位元素)が含まれた検査用の薬品(放射性医薬品)を飲んだり注射した後に、体の外からガンマカメラと言う専用装置で撮影し、体の臓器の形状や疾病の有無を調べる検査です。その頭文字をとったRI検査、または核医学検査と呼ばれています。ラジオアイソトープとは、自ら放射線を出す物質で、その放射線の量は、時間とともに減っていきます。

何がわかるのですか？

検査に使用する薬品には、それぞれ特定の臓器に集まる性質があり、それぞれの臓器に薬が集まる様子をいろいろな角度から調べることにより、体内の臓器の位置や大きさ、臓器の機能がわかります。そのため、調べる臓器や目的によって検査に使う薬は異なります。

〔主な検査〕

- *骨シンチ：がんが骨に転移していないか確認したり、骨の炎症、骨折の診断
 - *心筋シンチ：心臓の筋肉の血流から心臓の機能を検査し、狭心症や心筋梗塞・心不全などを診断
 - *ガリウムシンチ：腫瘍や炎症の場所、進行具合を調べる
 - *肺血流シンチ：肺血流を妨げている血栓がどこにあるのか調べる
 - *脳血流シンチ：脳内の血流異常から脳の機能を検査し、脳梗塞、痴呆、てんかん、脳腫瘍などを診断
- ※他にも腎臓、甲状腺、副腎などの血流や機能を検査することもできます。

安全ですか？

ほとんどの検査はベッドで静かに寝ていただくだけで、CT検査のように息を止めることはありません。薬から出る放射線はとても弱く、時間とともになくなってしまうため、身体への影響もほとんどありません。



ガンマカメラ



骨シンチ

心筋シンチ



(多方面から見た心臓の画像)



医局だより

「不整脈ってなぜ起こる？」

公立豊岡病院循環器科

「不整脈」とは、心臓のリズムの乱れを意味します。不整脈というと、何か切実な感じをあたえますが、実際に怖い不整脈はほんの一握りです。どうして脈が乱れるのか、その仕組みをよく知り、どう対処したらよいかをしっかりと理解しておれば、やたらと怖がったり、不安にさらされたりすることもないのです。

徐脈・頻脈・期外収縮??

心臓は筋肉でできた臓器で、その筋肉にかすかな電気信号が流れて興奮し、動く仕組みになっており、1分間に60～80回の速さで規則正しく収縮しています。このリズムが乱れるのが不整脈です。不整脈は大きく分けて3つの種類があります。脈の遅くなる「徐脈」、速くなる「頻脈」、さらに、脈が飛ぶ「期外収縮」です。



「徐脈」は心臓の中で電気がつくられなくなったり、途中でストップしたりするために起こります。脈が極端に遅くなり、数秒以上、脈がとぎれるようになると、ふうっとなったり、めまいがしたり、ひどい場合は意識がなくなって倒れたりします。また、脈の遅い状態が続くと、体を動かす時に息切れするようになります。

「頻脈」は電気が異常に早くつくられるか、異常な電気の通り道ができて電気の空回りが起こるために発生します。脈が速くなるとドキドキと動悸がし、さらに脈が速くなると心臓が十分な血液を送り出せなくなって、吐き気や冷や汗、意識が遠くなる症状が出てきます。

また、「期外収縮」は本来、電気の生じる場所以外から早めに刺激が出てくるために起こる現象です。期外収縮は症状のない場合が多いのですが、症状の出る場合は、脈の飛ぶ感じや、胸部の不快感、きゅっとする胸の痛みとして感じます。ただし、この時の痛みは胸の狭い範囲で起こり、しかも一瞬または数十秒以内でおさまるのが特徴です。胸痛があると、狭心症や心筋梗塞ではないかと心配になりますが、それらの痛みはもっと長く続きます。

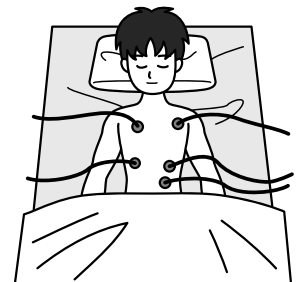
期外収縮による胸痛は、脈をとれば飛んでいることから判断できます。

不整脈ってなぜ起こる?

不整脈は心臓が悪いから起こるのかというと、実は必ずしもそうではありません。不整脈の原因として最も多いのは、年齢に伴うものや、体質的なもの、つまり心臓病には関係しないものです。1日または2日にわたって心電図を記録してみると、成人ではほとんどの人に、期外収縮が見つかります。年をとるにつれ、だれでも少しずつ不整脈が増えてくるのです。ストレス、睡眠不足、疲労などでも不整脈は起こりやすくなります。そういう意味では、だれにでも起こりうるものとも言えるでしょう。とくに検診で不整脈だけ見つかった場合は、病気とは関係のない不整脈であることがほとんどなのです。しかし、すでに心臓の病気があると、二次的に電気系統の異常が生じて、不整脈が出やすくなるのも事実です。例えば心筋梗塞や弁膜症になると、心房や心室が大きくなって電気の流れがおかしくなり、脈が乱れやすくなります。高血圧の人、肺に病気がある人、甲状腺に異常がある人も不整脈が出やすいのです。ですから、不整脈が見つかった場合には、心臓の病気やその他の病気がかくれているか、念のためにチェックを受ける必要があります。

不整脈の検査について

不整脈の検査としては、心電図、レントゲン、血液検査の他に、心エコー（超音波で心臓の動き、機能を詳しく調べる検査）、ホルター心電図（1日心電図をつけて不整脈の数、程度を調べる検査）、トレッドミル運動負荷心電図（心電図を記録しながら運動して、運動時の不整脈の出方を調べる検査）などがあり、必要に応じてこれらの検査を組み合わせると不整脈の評価を行い、治療が必要かどうかを決定します。不整脈の治療としては、日常生活の改善のみで軽快する場合がありますが、薬物療法や手術療法（ペースメーカー治療やカテーテル治療など）が有効なものもあります。最近ではいろいろな検査法や治療法が進歩しており、正しい評価をした上で適切な治療を受け、不整脈と上手に付き合っていきましょう。



医師不足の現状と対応についてのお知らせ

ほすびたる第8号（2005.8発行）でお知らせしましたように、深刻な医師不足により、日高病院、出石病院、和田山病院で診療制限や救急の受け入れ制限を行うなど、住民の皆様には多大なご心配、ご不便をおかけしております。

現在、当病院組合では、関連大学への派遣依頼や県への派遣要望、インターネットや広報紙を活用した公募などを行うほか、長期的には医師修学資金貸与制度を設けるなど医師確保を図っております（右図①参照）。しかし、この医師不足は全国的な問題であり、すぐに解消できるものではなく、特に中小病院では相当期間続くものと予測されます。

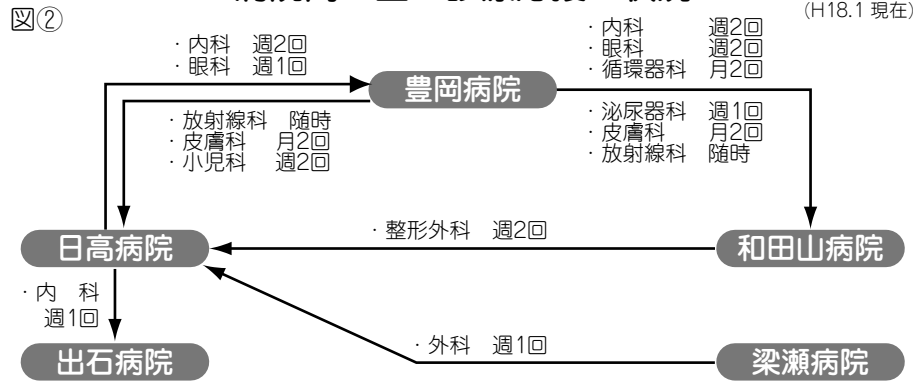
このため、当面の対策として、当病院組合内病院間や外部からの診療応援・当直応援・麻酔応援・手術応援などを進め、医療の確保を行っている状況です（右図②参照）。

図①

医師不足の状況（H18.1.1現在募集中の医師）

- 豊岡病院 総合内科、神経内科、血液内科、呼吸器科、外科、リハビリテーション科 各1名
- 日高病院 内科、外科 各2～3名
- 出石病院 内科、整形外科 各1名
- 和田山病院 内科 2名
- 梁瀬病院 内科 2名 *ホームページ等で募集中です

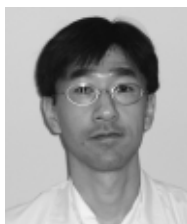
病院間の主な診療応援の状況



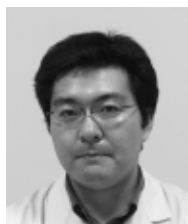
また、国の医療制度改革が進められるとともに、医師確保が非常に厳しい中で、今後、提供すべき医療は何か、自治体病院として担っていくべき役割は何か、経営的な側面からどのように事業展開すべきかなどについて検討していくため、今年2月中に有識者や構成市、医師会、各種団体の代表者の方々等に参加いただいて、「公立豊岡病院組合立病院のあり方検討委員会（仮称）」を設置いたします。会議の進行状況や内容については、ホームページ等で随時お知らせする予定です。

新任医師紹介

平成17年10月2日から1月1日までに新たに職員になりました!! よろしくお願いたします。（採用順）



豊岡病院 外科
医師 遠藤 真一郎



豊岡病院 消化器科
医師 太田 達郎



豊岡病院 皮膚科
医員 佐々木 弘真

退職医師紹介

お世話になりました!

- | | | | |
|--------|------|----------|--------------------|
| 12月31日 | 豊岡病院 | 内分泌糖尿病内科 | しばさき さえこ
柴崎早枝子 |
| 12月31日 | 豊岡病院 | 皮膚科 | やまもと ようすけ
山本 洋介 |
| 12月31日 | 豊岡病院 | 眼科 | あいかわ よしひで
相川 恵秀 |
| 12月31日 | 日高病院 | 外科 | おざき たかひこ
尾崎 敏彦 |

携帯WEBサイトを開設しました!!

インターネット閲覧可能な携帯電話から組合立病院の基本情報（住所、電話番号、メールアドレス等）、外来診療担当などの情報をご覧いただけるようになりました。（i-mode, EZ-web, Vodafone livet対応）

ご覧になる場合は、直接下記のアドレスを入力いただくか、QRコード対応の携帯電話からは右の画像を読み込んでください。

<http://www.toyookahp-kumiai.or.jp/i/>



健康パートナー『かかりつけ医』を持ちましょう!

公立豊岡病院長 竹内 秀雄

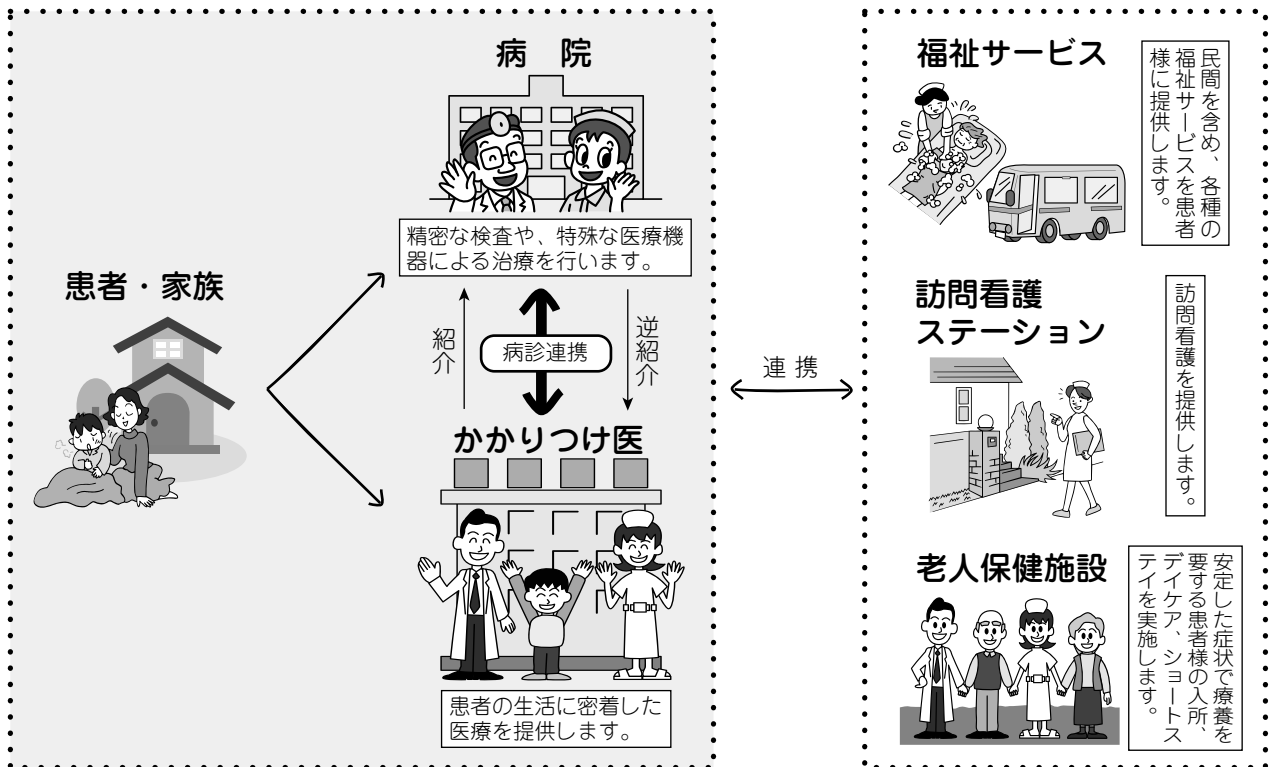
新病院での診療がスタートして、9カ月が経過しました。この間、患者様には、職員の不慣れや医療情報システムの不具合等により、度々にわたりご迷惑をおかけしましたことを深くお詫び申し上げます。

公立豊岡病院では、地域の病院・診療所（かかりつけ医）との医療機関相互の機能分担・業務連携を通じて、医療の質の向上やより適切な地域医療の確保に努めています。すなわち、病院の専門性や診療所の包括性を踏まえ、お互いの役割を分担しながら協力して診療や検査を行っていくというものです。このため、患者様の症状に対して、より高度な治療や検査が必要と判断された場合には、かかりつけ医から当院へ『紹介』いただき、当院で急性期の治療を終えられ、その後も継続的な治療が必要な場合には、担当医の判断のもと、かかりつけ医へ転医していただく『逆紹介』を推進しています。

そこで、この紹介・逆紹介をよりスムーズに行っていくためにも、住民の皆様には『かかりつけ医』

を持っていただくことをお勧めしております。これは、患者様にとってもメリットのあることです。総合病院では、専門的な治療は受けることができますが、診療科を超えて体の隅々まできめ細かく一人の医師が見ることは困難です。自宅近くの行き慣れた診療所の医師なら、自分の体全体の状態、あるいは家族全員の健康状態も把握してもらえます。このような医師を『かかりつけ医』と言いますが、『かかりつけ医』を持つことにより、普段の健康管理、病気の初期治療、さらには総合病院での検査、治療を必要とするかどうかの判断を円滑に行うことができるようになります。また、急な症状が出た場合の対処方法等も普段から相談しておけば、いざという時の判断にも困りません。

今後、一層高齢化が進み、病気と上手に付き合いつながりながら生活することも大切なこととなりますが、そのためには、是非、『かかりつけ医』を持って、普段から健康管理に心がけ、治療が必要な場合はできるだけ早期に治療し、いざという時には病院でスムーズに専門医療が受けられるような仕組みを地域の中で作り上げていきたいと考えています。



編集後記

新年明けましておめでとうございます。今冬は記録的に寒い冬となっていますが、雪かき作業で腰を痛めておられませんか？私事ですが毎朝早起きをして、出勤前の一仕事でぐったりです。雪は見るだけなら綺麗で好きですが、生活がかかってくると「もう腹いっぱい」という気分です。雪はいずれ消える物、無理は禁物ですね。

◀編集委員 Y▶

◇発行 公立豊岡病院組合 ◇〒668-8501 豊岡市戸牧1094 ◇TEL 0796-22-6111(内線2111)
 ◇URL : <http://www.toyookahp-kumiai.or.jp/> ◇E-mail : kikaku@toyookahp-kumiai.or.jp

●本紙掲載の写真・イラスト・記事の無断使用・無断転載は禁じます。